

歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史 15 回目

前回のお話の中で印象に残ったのは麴の販売権のこと。石清水内四郷(常盤・山路・科手・金振)で麴を作り、販売する権利を認められていた杜郷薬園寺。楠葉住人の中でこっそり麴を作り、売る者が。平安時代でも鎌倉になってからもそういうことがあって、森の住民に訴えられた。楠葉の人たちは土器を作る権利を持っているのに、楠葉で麴を作るのがわからんと。この特権は石清水八幡宮に仕える神人(じにん)に与えられたもの。勿論利益は八幡宮に還元されます。神人については今後説明をして下さる予定です。

- ① 日時 2019年8月29日(木) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴 15 回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



(たんけん八幡「室町時代の門前町」より)

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。